

2023年 第26週（6月26日～7月2日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）
- 3 インフルエンザについて

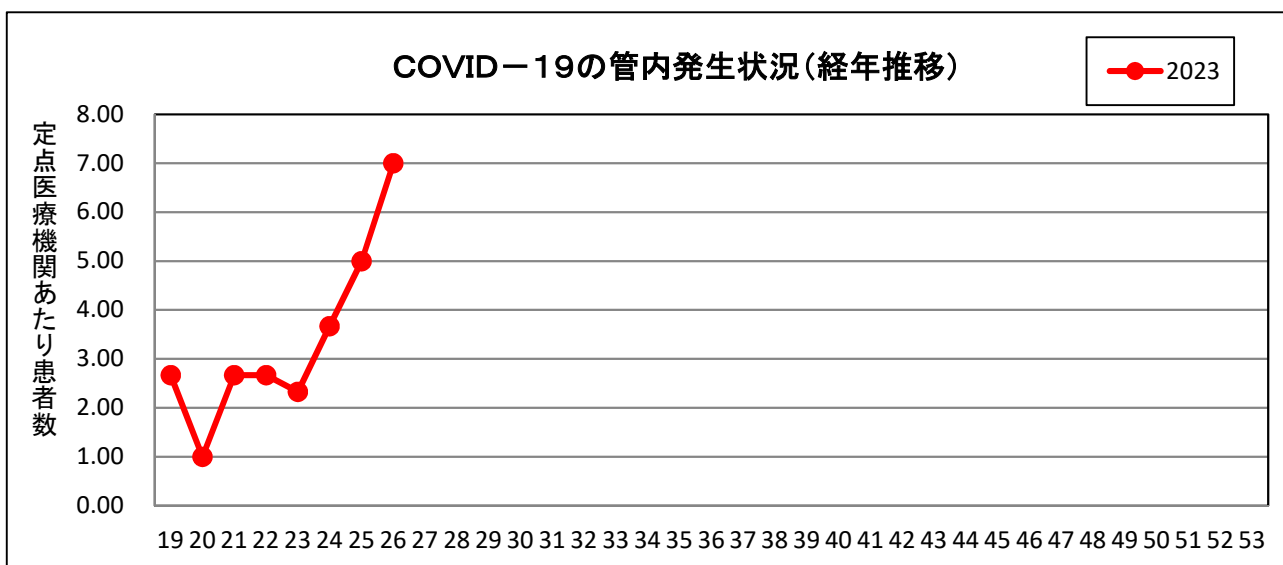
1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週7.00人（先週5.00人）で先週から増加し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週5.78人（先週4.82人）となり、先週から増加しました。地域別では、赤穂保健所管内が13.50人と最も多く、龍野保健所管内12.38人、宝塚保健所管内9.67人となっており、年齢別では、10歳代が24%と最も多く、次に5～9歳及び50歳代が各々11%となっています。

また、県内の社会福祉施設等において2件（先週2件）の集団発生が報告されています。

新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、ウイルスの感染力や病原性は以前と同じです。引き続き3密（密接、密集、密閉）の回避、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用など、自主的な感染症対策をお願いします。

注）2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。



詳細はこちら

[兵庫県／令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に移行しました](#)

[兵庫県／5類移行に伴う県民の皆様へお知らせとお願い](#)

[兵庫県／5類移行に伴う医療提供体制について](#)

[兵庫県／5類移行に伴う主な事業等の取扱い](#)

<新型コロナウイルス感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[兵庫県／新型コロナウイルスの感染者の状況及び感染動向の指標](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス \(COVID-19\) 関連情報ページ](#)

2 管内の感染症発生状況 (新型コロナウイルス以外のもの)

(1) 管内の全数把握感染症 (すべての医療機関から報告を求める感染症)

第26週は、報告がありませんでした。

(2) 定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症)

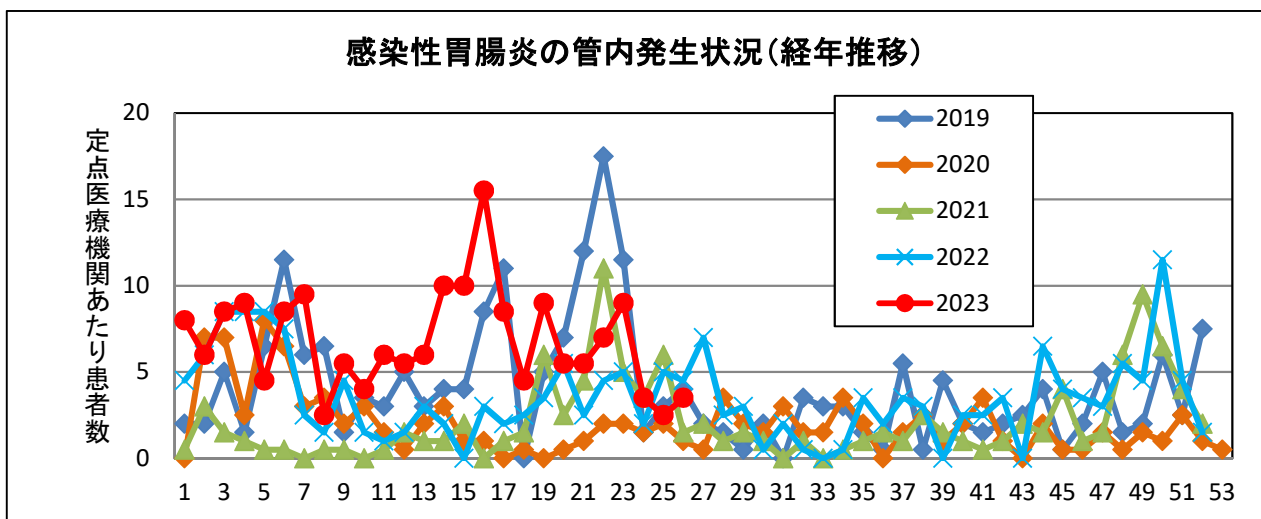
(2023年26週) ※定当：定点あたり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
1	0.33	9	4.5	-	-	1	0.5	7	3.5	-	-	1	0.5	1	0.5	-	-	21	7

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎が定点あたり患者数3.5名で、先週(2.5名)から増加し、兵庫県では5.1名で、先週(5.6名)から減少しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物进行处理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

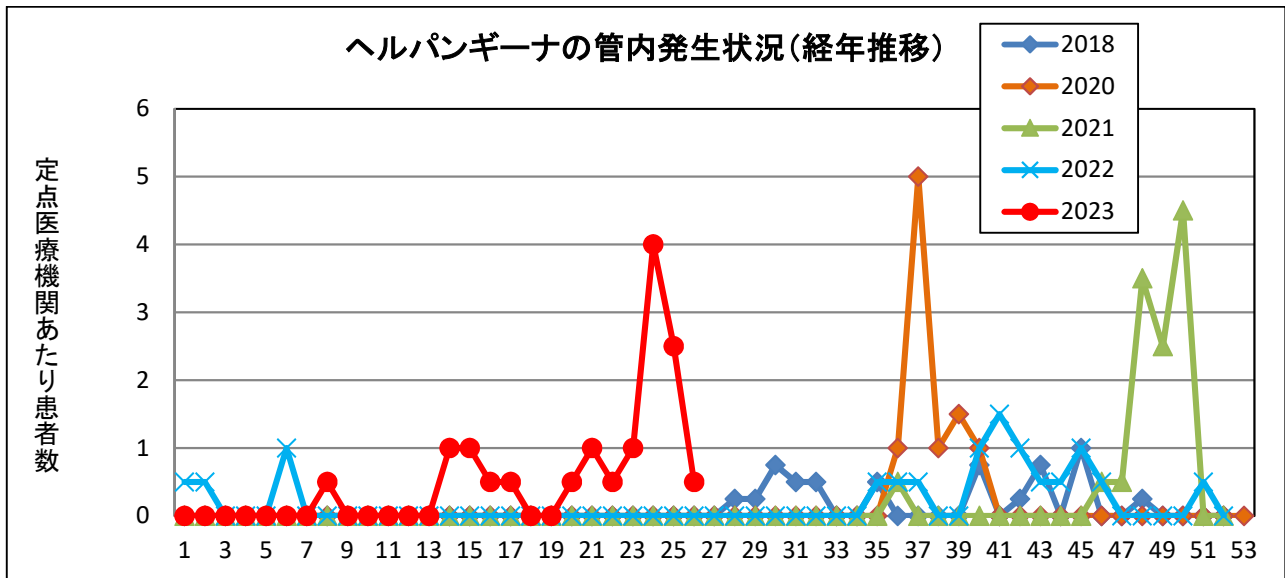
◆兵庫県ホームページ

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

また、管内では、ヘルパンギーナが定点あたり患者数0.5名で、先週（1.5名）から減少したものの、兵庫県では5.1名で、先週（4.7名）から増加しています。ヘルパンギーナは乳幼児がかかりやすい、夏かぜの代表的な病気で、咳をしたときのしぶきにより感染します。手洗い・うがいを励行し、特におむつの交換など便を扱ったあとは手洗いをきちんとし、洗濯物は日光で乾かしましょう。また、治った後も（発症後4週間後ごろまで）便からウイルスが排泄されていますので、必ず手をよく洗いましょう。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

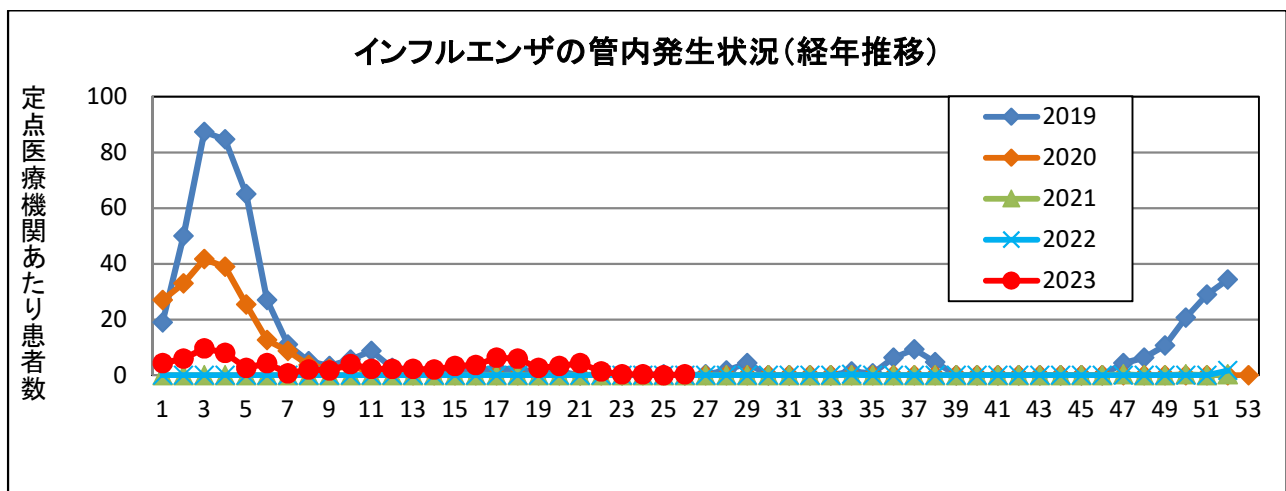
[夏の感染症にご注意を!](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[ヘルパンギーナとは](#)

3 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週0.3人で、先週（0人）から横ばいで、県内の定点あたり患者数は今週1.05人で、先週（1.20人）から微減しました。感染防止対策は新型コロナ対策と共通していますので、感染拡大を防ぐためにも引き続き基本的な感染対策をお願いします。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。



<インフルエンザに関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[インフルエンザ](#)